



青い空と白い雲

教諭

快晴に恵まれて、青い空と白い雪の中で遠くの山並みがくっきりと見えて、まさに絶好のスキー日和になった今回のスキー移動教室、私自身が3日間で印象に残ったことを3つ紹介します。

まず1点目は、生徒たちのはじける笑顔です。入浴を待つ時間など部屋での自由時間が設けられていたのですが、生徒たちは持ち込みが認められていたカードゲームなどに興じ、マスク越しでもわかる笑顔を浮かべていました。普段の教室ではうかがい知れなかった交友関係も見え、生徒のしおりの振り返りを見ても「普段話さない人と仲良くなれて良かった」という感想もあり、とても喜ばしい気持ちになりました。学級を超えた班になったスキー講習においても、リフトに乗るときに他学級の人との交流ができた人も多かったようです。実習を通して広がった交友関係が普段の学校生活において生きてくることを期待しています。

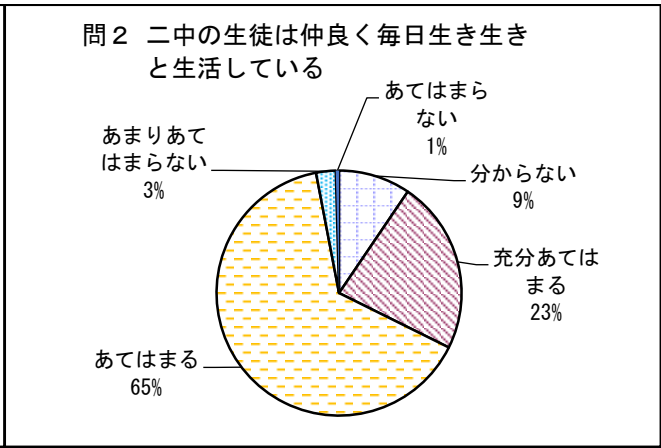
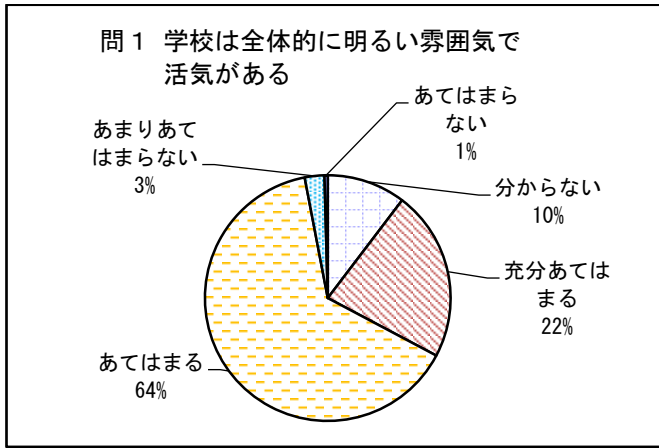
2点目は、自分のことは自分でやることの大切さです。出発前の集会をはじめ、ことあるごとに「室長は君たちの親御さんではない」ということを伝えてきました。その言葉を受けて、しおりを開いて、自主的に「今自分は何をしなきゃいけないのか」「次に必要となる行動はなにか」を考えている生徒が見受けられました。一方で、残念ながららついつい室長に何でも聞いてしまう生徒もいました。行事の日程は普段の学校生活と勝手が違うため、慣れていないことも多かったと思います。でもそれは、みんな同じです。3学年になれば修学旅行もありますので、今回の経験をふまえて、普段の学校生活から行動予定などを意識してメモするなど情報を書き込み、見返えせるようにする習慣を付けてほしいものです。

3点目は、小さな決断の積み重ねができたことです。2日目には全ての班の生徒がリフトに乗っての実習になり、私も生徒とともに滑っていたのですが、技能面とあわせて、子供たちの心の成長を見ることができました。狭いゲレンデの滑走から、上達していけばいくほど、広いゲレンデでどこを滑走するか、どのくらいのスピードで滑走するかなど、小さな決断を一つ一つ積み重ねていました。初心者班では特に、インストラクターの技術をつぶさに観察し、目の前を滑走する班員のペースや自分のできないこと、できることを理解し、受け入れ、自分で決めながら取り組んでいました。普段の子供たちの生活も、小さな決断の連続です。宿題が先か後か、ゲームを何時までにするかなど、自分の都合と家族との約束、習い事があればそれも考えた上で取り組む順番なども自分で決めなくては

なりません。自分で決めたことは、やり抜くことができることが良いとされますが、時間の制限や自分の技能、そしてその他の事情から、方法を変える、間違っていれば直すという選択が求められることもあります。自分自身を見つめ、その時の情報を自分なりに整理して、自分で決めて実践していくことはスキー実習も普段の生活も変わりません。小さな決断を積み重ねて、立派に成長してほしいと思っています。

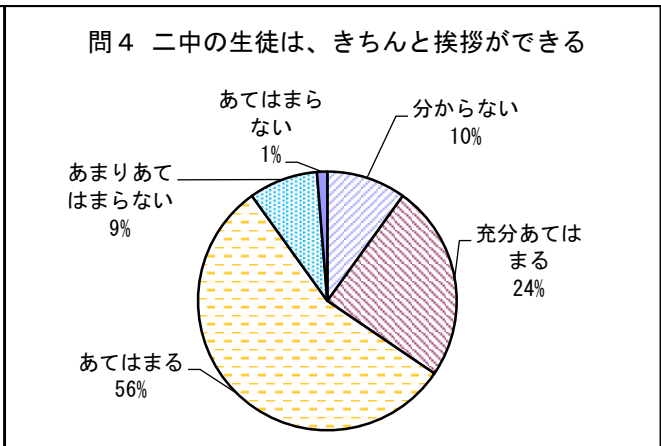
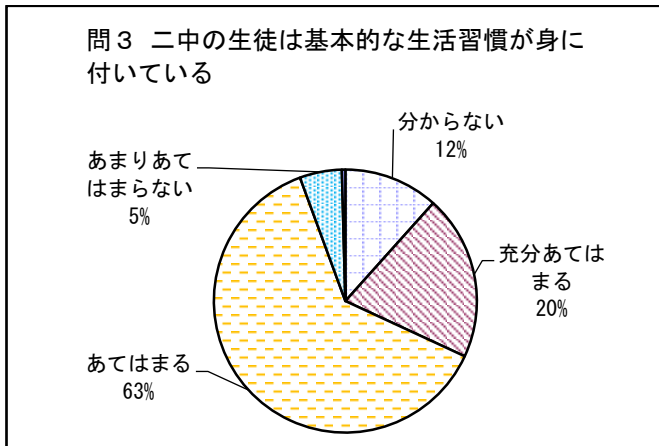


◇保護者による学校評価アンケートのまとめ◇ お忙しい中、ありがとうございました。結果をご報告いたします



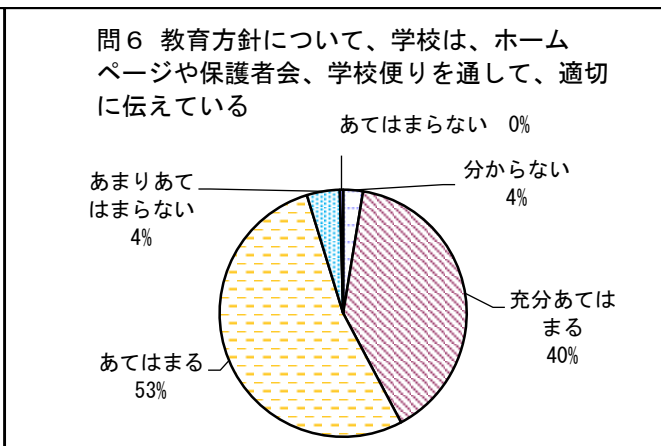
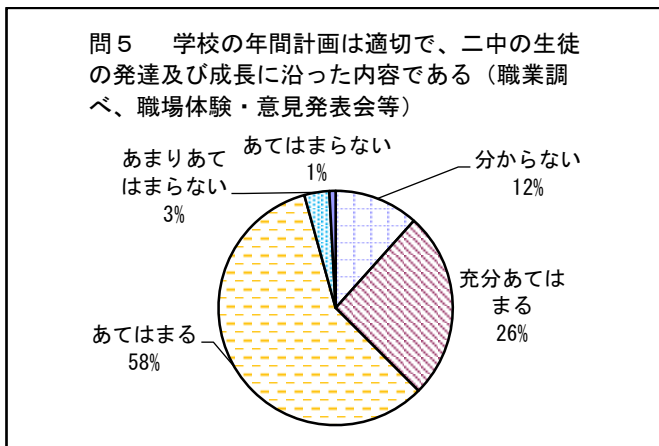
昨年度： 82% 今年度：86% 《+4%》

昨年度：78% 今年度：88% 《+10%》 ※肯定的意見集約



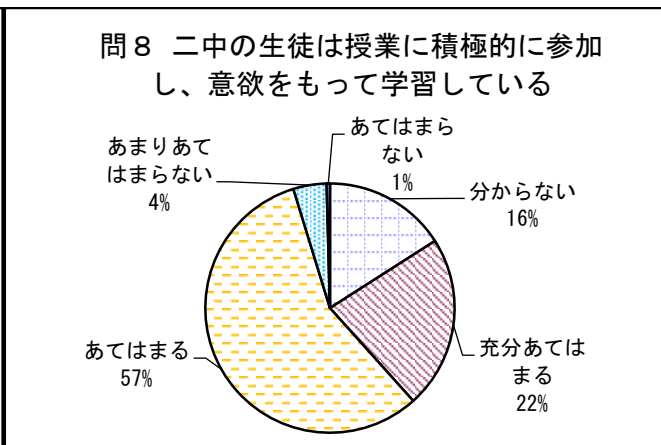
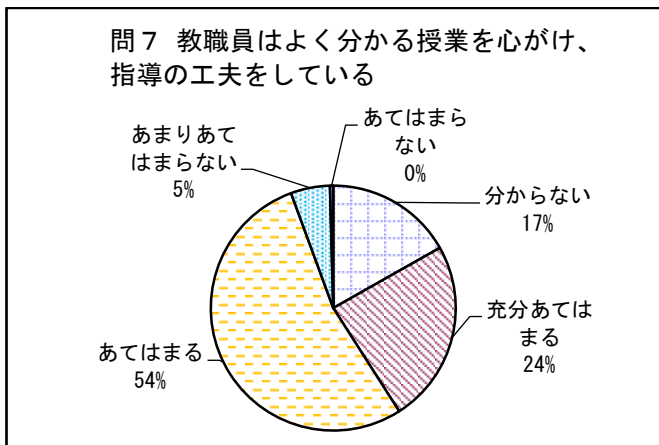
昨年度：77% 今年度：83% 《+6%》

昨年度：82% 今年度：90% 《+8%》



昨年度：調査対象外 今年度：94%

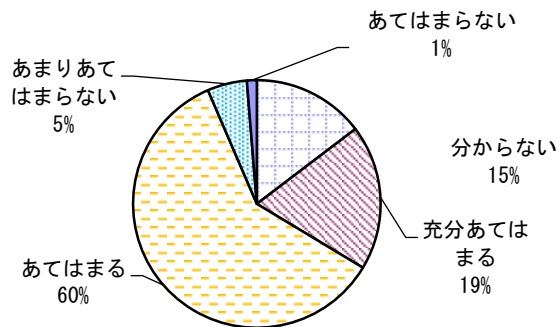
昨年度：91% 今年度：93% 《+2%》



昨年度：73% 今年度：78% 《+5%》

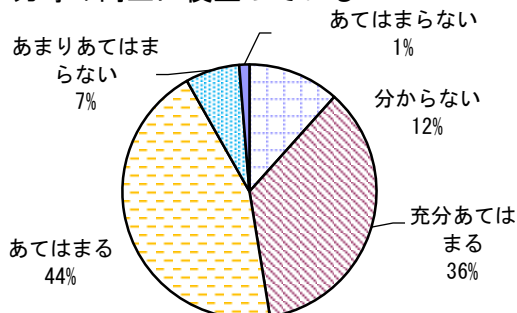
昨年度：71% 今年度：79% 《+8%》

問9 二中の生徒は授業を通して、基本的な知識や技能が身に付いている



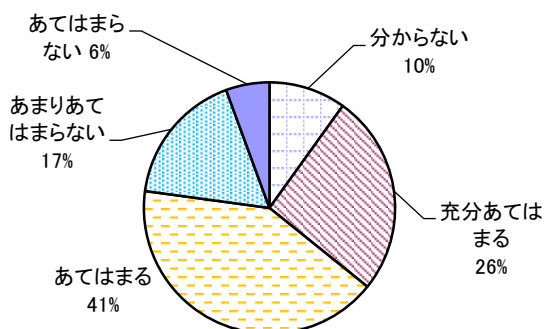
昨年度：79% 今年度：79% 《±0%》

問10 数学・英語の少人数授業は、二中の生徒の学習意欲、理解力、思考力等の向上に役立っている



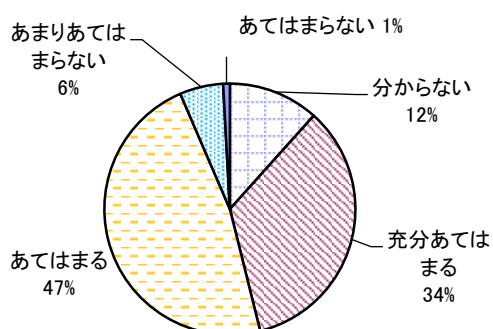
昨年度：83% 今年度：80% 《-3%》

問11 宿題や課題は適切で、学習習慣が定着してきている



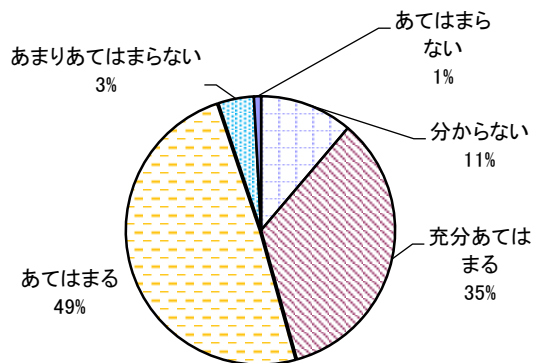
昨年度：78% 今年度：67% 《-11%》

問12 教職員は二中の生徒の気持ちや考えを理解し、親身な対応をしている



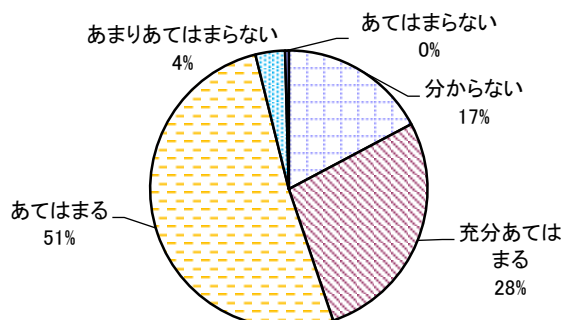
昨年度：85% 今年度：91% 《+6%》

問13 教職員は毅然とした対応で集団生活の規律を指導している



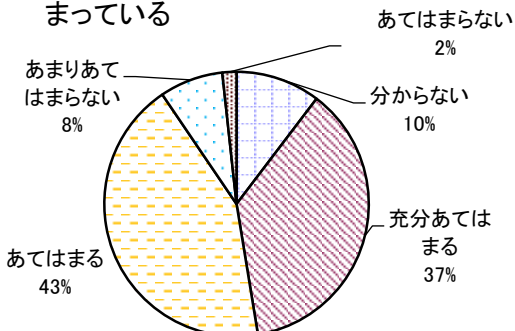
昨年度：82% 今年度：84% 《+2%》

問14 学校での活動や道徳の授業を通して、生徒の豊かな心や規範意識等が高まっている



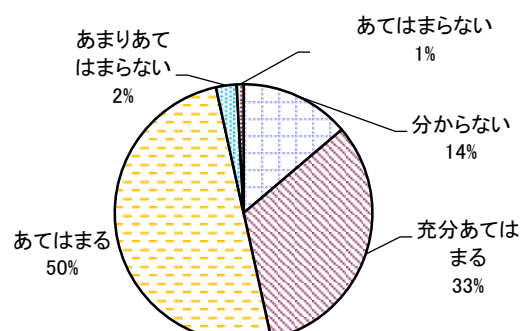
昨年度：76% 今年度：79% 《+3%》

問15 人権尊重教育推進校の研究や講演会等を通して、生徒の人権感覚は高まっている



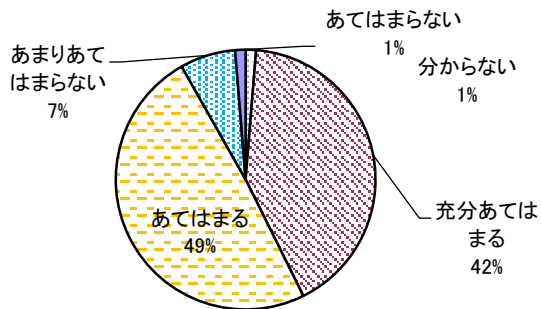
昨年度：調査対象外 今年度：80%

問16 外部講師による講演会や体験は二中の生徒の育成に役立っている



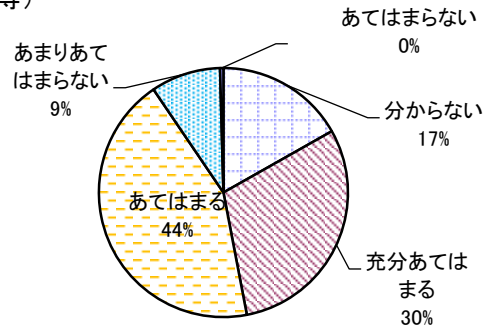
昨年度：73% 今年度：83% 《+10%》

問17 保護者に対し、学校は二中の生徒の様子がよく分かる工夫をしている。(便り、保護者会、行事、学校公開等)



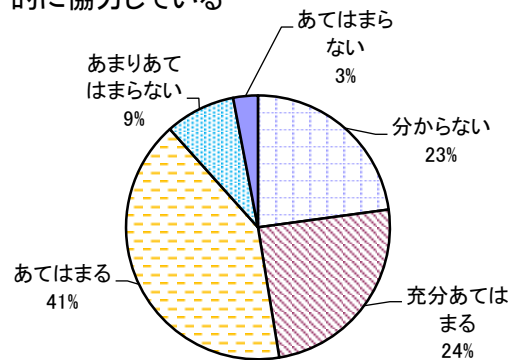
昨年度：85% 今年度：91% 《+6%》

問18 学校には地域と連携した教育活動がある(ボランティアへの参加・地域行事への協力等)



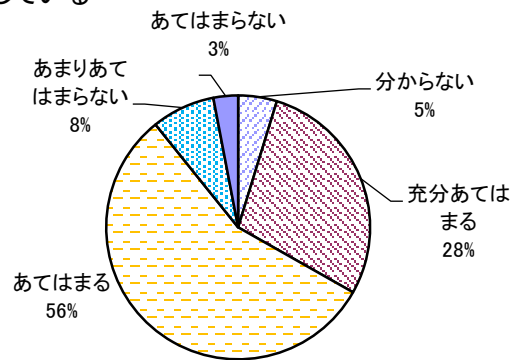
昨年度：調査対象外 今年度：74%

問19 保護者は学校の教育活動に積極的に協力している



昨年度：61% 今年度：65% 《+4%》

問20 保護者は学校の教育活動に満足している



昨年度：83% 今年度：84% 《+1%》

主ないただいたお声と回答を一部掲載します

・職場訪問は行ける場所や人数が限られていて、行きたい場所を選べなかったそうです。コロナ禍で難しいとは思いますが、せつかくならもう少し選択できればと感じました。

《回答》 職場訪問の学習のねらいは働くこと、職業について深く考える機会としています。コロナ禍で事業所が限られていたので厳しかった面もありましたが、来年度は職場体験となるため、体験先を増やして行きたいと考えています。

・英語の少人数教室について。指導要領に従いレベルをミックスしてのクラス分けですが、差が開いてしまっている印象を公開授業の時に受けました。

《回答》 英語の少人数授業は、都の方針に従って展開しております。頂いた意見も含め分かる授業を目指して参ります。

・スキー教室について。去年もコロナで中止になっていると聞きましたが、なぜスキー教室なのでしょう。熱の出た場合の保護者の引き取りは厳しいと思います。

《回答》 今年度のスキー教室での生徒アンケートでは生徒の満足度や達成感は9割以上がスキー実習でした。生徒の充実感、達成感として教育的意義は大きいと考えています。また、コロナ禍以前では市内全てでスキー教室でした。今年の実施は市内も9校中、7校がスキー教室でした。山登りを実施した学校もありましたが、雨で大変で、発熱した生徒は引き取りを保護者をお願いしたとのことです。コロナ禍以前から、感染症罹患やけが等は保護者の方に協力をお願いしています。※修学旅行も同様でしたが、感染法上の関係から保護者へのお願いについて今年度は特に厳しい状況でした。御理解・御協力に感謝しています。

・行事の縮小が多すぎると思います。

《回答》 コロナ禍という事もあり、感染対策と行事の運営のバランスを考えながらの行事の実施となりました。今後は状況を見ながら充実した内容や行事の実施に戻せるようにして参ります。

・コロナで休んだ期間に対する配慮も足りなかったように思います。

《回答》 オンラインでの授業保障だけでなく、課題提出等も含めて欠席生徒の対応について校内で検討いたします。

・修学旅行について修学旅行の時期は9月上旬だと高等学校の文化祭と重なる

《回答》 修学旅行の実施時期は、春と夏の2通りで、二中では運賃の安い連合体輸送を選んでおります。この連合体輸送が都の中学校全体での抽選のため、日程は選べないためこのような形になっています。申し訳ありません。